

# 植物防疫情報第2号

平成 26 年 7 月 14 日  
岡山県病害虫防除所  
岡山県植物防疫協会

## イネいもち病(葉いもち)の防除を徹底してください！

### ●葉いもち

岡山県病害虫防除所が7月3～4日に行った巡回調査によると、県全域では平年並ですが、県中部での葉いもちの発生圃場率は29.2%と平年の17.8%より高くなっています。最近の気象条件を踏まえると、今後、葉いもちの発生がさらに広がる可能性があるため、防除対策に万全を期してください。

#### 《防除対策》

- 1) 置苗は伝染源となるので、早急に処分する。
- 2) 葉いもちの発生を確認したら、ただちに箱施用剤と異なる系統の薬剤散布（下表参照）を行う。
- 3) 葉いもちは、穂いもちの伝染源となる。罹病性品種（コシヒカリ、あきたこまち、吉備の華、朝日、雄町など）では病勢の進展が早いので、葉いもちの早期発見に努める。
- 4) 植物防疫情報第1号「イネいもち病（葉いもち）の発生に気をつけてください！！」を参照する。

表 主な防除薬剤（下記単剤の他、下記成分を含む混合剤）

薬 剤 名	農薬使用基準		
	使用時期	使用回数	希釈倍率・処理量
ラブサイド粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3～4 kg/10a
ラブサイドフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	1000～1500倍
ビーム粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内①	3～4 kg/10a
ビームゾル	収穫7日前まで	3回以内①	1000倍
カスラブサイド粉剤3DL	穂揃期まで	2回以内	3～4 kg/10a
カスラブサイドゾル	穂揃期まで	2回以内	1000～1500倍
ダブルカットフロアブル	穂揃期まで	2回以内	1000倍
ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3～4 kg/10a
ブラシン水和剤	収穫7日前まで	2回以内	1000倍
ブラシンフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1000倍
オリゼメートパック	収穫14日前まで	2回以内②	パック20～26個/10a
オリゼメート粒剤	葉いもち初発10日前～初発時③	2回以内②	3～4 kg/10a
コラトップ粒剤5	葉いもち初発10日前～初発時④	2回以内⑤	3～4 kg/10a
コラトップジャンボ	葉いもち初発20日前～初発時④	2回以内⑤	パック10～13個/10a
★嵐粒剤	葉いもち初発10日前～初発時⑥	1回以内⑦	3 kg/10a
★イモチエース粒剤	収穫35日前まで	1回以内	3 kg/10a
★オリブライト1* <sub>1</sub> 粒剤	出穂10日前まで	1回以内	1 kg/10a
★オリブライト250G	ただし、収穫45日前まで 出穂10日前まで	1回以内	250g/10a
	ただし、収穫45日前まで		

★：QoI剤（本県の一部地域で耐性菌が確認されている。平成25年度植物防疫情報第2号、第6号参照。）

①：育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内。②：育苗箱への処理及び側条施用は合計1回。③：穂いもちには出穂3～4週間前、収穫14日前まで。④：穂いもちには出穂30日前～5日前まで。⑤：育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内。⑥：穂いもちには出穂25日前～5日前まで、但し収穫21日前まで。穂いもちの場合は2～3kg/10a。⑦：移植前は1回以内、本田では1回以内。

農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守するとともに、ドリフトに注意するなど安全・適正に使用するようお願いします。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。